

平泉町の財政状況はどうなっているの？

1 現在の平泉町の財政状況について

平成の市町村合併が一段落した後、平成19年から4年間、集中改革プランに取り組んできたことなどから現在は**借金が減り、貯金が増えている**状況であり健全財政を維持しています。

国の法律に基づく地方公共団体の健全化判断比率（**実質公債費比率**(1)と**将来負担比率**(2))は**国が定めた基準を下回り財政が健全であることが客観的に証明されています。**

- (1) 町の1年間の収入に対する毎年の借金返済費用の割合を示す指標
- (2) 町の1年間の収入に対する町が将来にわたって負担すべき負債の割合を示す指標

2 平泉町の借金の状況について

現在、一般会計と特別会計合わせて**約100億円の借金(一人当たり約120万円)**がありますが、地方交付税で補填される借金や水道使用料や住宅使用料で賄われる借金を差し引くと**正味の借金は約35億円(一人当たり約43万円)**となります。

この借金は、学校改築、道路改良事業、住宅建設事業、災害復旧事業など**町民の皆さんの生活に密着したものであり、長期間使用するものであり無駄なものはありません。**

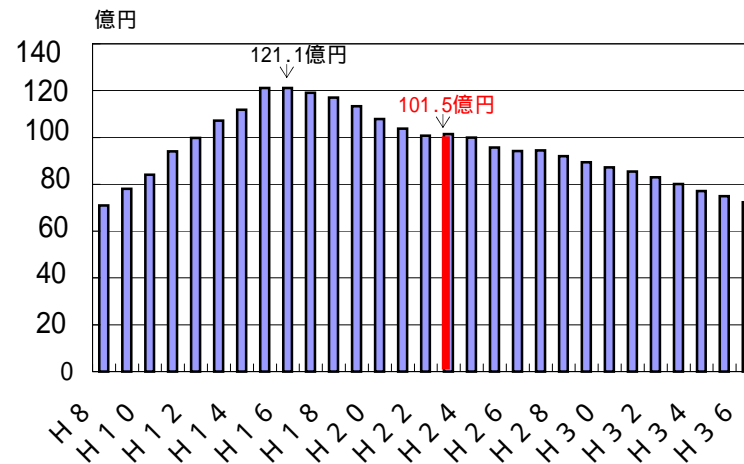
3 今後の平泉町の財政状況について

新平泉町総合計画（前期基本計画H23～27：後期基本計画H28～32）に基づいた歳出に対して、**歳入は人口減少などを考慮し、町税、地方交付税など厳しく見込んでいます。**

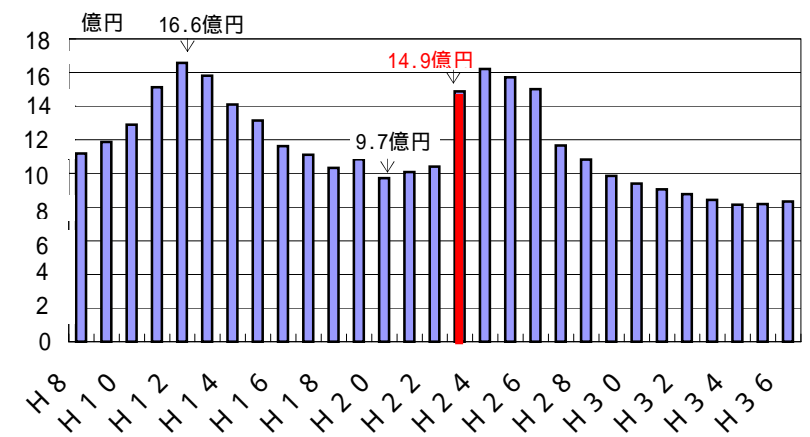
このため、平成27年度から歳入歳出差し引き額がマイナスとなりますが、その分については現在、**約8億円ある貯金(財政調整基金)**を活用し対応します。

将来的にも財政調整基金は3～4億円は最低限確保する見込みですし、**実質公債費比率、将来負担比率は基準を超えないよう健全な財政運営を維持していきます。**

借金の残高：グラフ1



貯金の残高：グラフ2



健全判断比率の推移：表1

財政健全化を判断する指標	早期健全化基準	県協議・許可基準	実績				見込み						
			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
実質公債費比率	25%	18%	23.0%	22.9%	21.2%	18.3%	15.6%	13.9%	12.4%	10.5%	9.4%	9.1%	9.6%
将来負担比率	350%		134.5%	129.0%	102.0%	88.4%	76.5%	77.7%	77.2%	79.3%	94.5%	94.0%	96.7%

借金の内訳 (H23年度決算)：表2

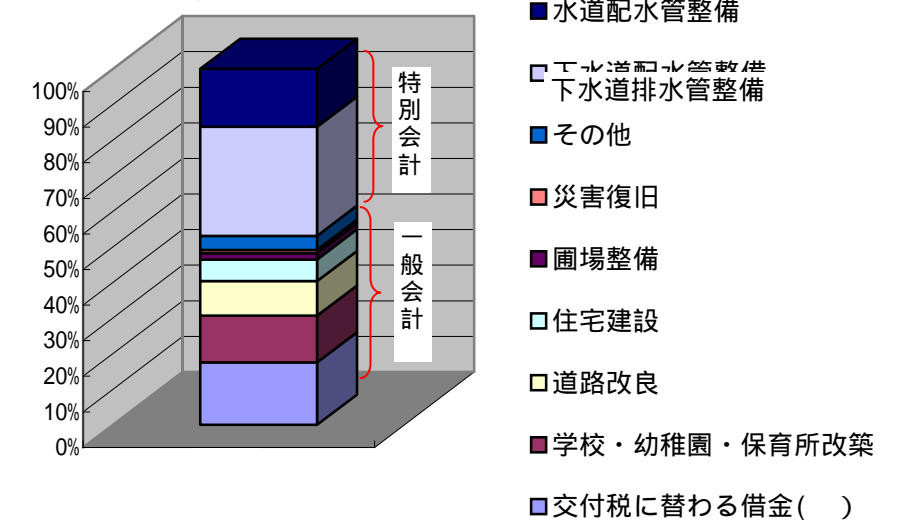
		単位：千円	割合
一般会計	交付税に替わる借金(3)	1,778,876	18%
	学校・幼稚園・保育所改築	1,332,548	13%
	道路改良	986,990	10%
	住宅建設	616,557	6%
	圃場整備	179,595	2%
	災害復旧	92,960	1%
	その他	402,751	4%
一般会計合計		5,390,277	53%
下水道事業会計・農業集落排水事業会計	下水道排水管整備	3,108,056	31%
水道事業会計・簡易水道事業会計	水道配水管整備	1,652,101	16%
特別会計合計		4,760,157	47%
平泉町全体合計		10,150,434	100%

(3) 国の制度により借金を余儀なくされているもの、臨時財政対策債

財源の内訳 (H23年度決算)：表3

		単位：千円	割合
地方交付税で補填されるもの		5,231,838	52%
水道使用料及び住宅使用料で賄われるもの		1,388,797	14%
一般財源		3,529,799	35%
平泉町全体合計		10,150,434	100%

借金の残高：グラフ3



財源の内訳：グラフ4

